

医学生物学研究所、伊那市から寄贈されたタカトオコヒガンザクラを植樹

～地域共生の象徴、伊那市と共に歩む新たな一歩～

2024 年 12 月 25 日

JSR 株式会社のライフサイエンス事業のグループ企業である株式会社医学生物学研究所（取締役社長 伊藤 浩毅）は、2024 年 12 月 19 日に伊那市から寄贈された「タカトオコヒガンザクラ」4 本を、同研究所の伊那施設内に植樹する植樹式を実施いたしました。この式典には、伊那市長白鳥孝様、下手良副区長柴田正明様が参列し、タカトオコヒガンザクラの植樹、奉水を行い、地域と伊那研究所の連携を象徴する重要なイベントとなりました。

式典では参列した MBL 取締役社長 伊藤浩毅から御礼のご挨拶をさせていただき、その後伊那市長 白鳥孝様、下手良副区長 柴田正明様から以下のご挨拶いただきました。

MBL 取締役社長 伊藤浩毅

「止まることなく成長を続けるタカトオコヒガンザクラのように、弊社も国内外への発展を目指し、歩みを進めてまいります。また、地域の皆様とともにこの桜を大切に育てながら、桜の会などのイベントを開催し、地域とのさらなる交流を深めていきたいと考えております。」

伊那市長 白鳥孝様

「タカトオコヒガンザクラは、市の象徴であり、門外不出の桜として、特別なご縁のある場所にのみお譲りさせていただいております。これまでの伊那市への検査キットの寄贈や、地域イベントへのご協力に深く感謝申し上げますとともに、是非この桜を大切に育てていただき、この地を拠点に世界へと飛躍されることを衷心よりお祈り申し上げます。」

下手良副区長 柴田正明様

「御社におかれましては、長年にわたり地域周辺の環境整備や各種行事へのご貢献をいただき、心より感謝申し上げます。桜の会を開催いただけたとのことで、この貴重な桜を通して、この先交流がさらに深まるとともに、御社が地元企業として一層の発展をされますことをご祈念申し上げます。」

医学生物学研究所は、伊那市の象徴である「タカトオコヒガンザクラ」を生育する、伊那市の一員として、今後も地域との共生と発展に貢献してまいります。



植樹式記念写真



植樹の様子



MBL 取締役社長 伊藤浩毅 代表挨拶の様子



植樹した桜と第二生産棟

タカトオコヒガンザクラについて

タカトオコヒガンザクラは、長野県伊那市高遠町に自生する桜の一種で、特にその美しさから「天下第一の桜」と称されています。昭和 35 年に長野県の天然記念物に指定され、現在は高遠城址公園を中心に約 1,500 本が植えられており、毎年春には多くの観光客が訪れます。タカトオコヒガンザクラは、他の桜よりも小ぶりで、淡いピンク色の花を咲かせるのが特徴です。

本リリースに関するお問い合わせ：

株式会社医学生物学研究所

本社所在地 〒105-0012 東京都港区芝大門 2 丁目 11 番 8 号 住友不動産芝大門二丁目ビル

伊那研究所所在地 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1063 番地 103

電話 0265-76-1777 (伊那研究所)

【株式会社医学生物学研究所について】

1969 年に日本で最初の抗体メーカーとして設立され、現在では、免疫学的領域のみならず、遺伝子診断の領域にも事業を拡大して、臨床検査薬及び基礎研究用試薬の研究・開発・製造・販売を行っています。

臨床検査薬事業では、自己免疫疾患、がん、感染症等の検査薬の開発・販売を行っています。自己抗体診断分野では日本国内トップメーカーとして製品ラインナップの充実を図り、難治性疾患の多い当該分野の医療に貢献しています。がん診断分野では医薬品の効果を予測するコンパニオン診断薬を開発し、個別化医療に貢献しています。

以上